

春は桜を見に上寺へ！

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)



上寺さくら祭り

桜花爛漫の春に象徴されるように、自然界は目覚め、芽吹きシーズンで、物事が活発に動き出す時期を迎えました。気候もよろしく、入学、入社、入社と相まって、全国の津々浦々で花見の行事がとりおこなわれますが、ややもすると浮かれ気味になるものです。しかし注意しないと、自然界では容赦なく淘汰がなされ、多くの目覚めのパワーに気おくれすれば、その犠牲となり、生活のリズムを狂わされ、自分自身を見失うことにもなりかねません。

そこで餘慶寺の「さくら祭り」では、大自然の生きる力、みなぎるいのちを取り込んで、よりいっそう生き甲斐を感じてもらえるようにと願い、趣向を凝らしてご参拝の皆様をお迎えいたします。

期間中、本堂では花御堂の釈迦誕生仏への甘茶のお供え、薬師堂では特別薬師護摩祈禱、国指定重要文化財の薬師如来像、聖観音像の特別拝観や、境内では寺庭婦人による「さくらカフェ」などを行って、皆様の元氣な生活を応援いたします。是非とも春の上寺へお詣り下さい。

餘慶寺 春の行事

涅槃会 (本堂)

三月十五日(土) 十六時
お釈迦様のご命日は二月十五日ですが、餘慶寺では月遅れでお勤めします。本堂に涅槃図を掛けて法要をします。

降誕会 (本堂)

四月八日(火) 八時

お釈迦様の誕生日で、「花祭り」「灌仏会」ともいいます。本堂の正面に用意された花御堂にお釈迦様の生まれたときのお姿である誕生仏を祀り、甘茶をかけてお祝いします。
※十時から十六時まで甘茶の無料接待があります。

さくら祭り

(本堂・薬師堂)

四月一日(火)～八日(火)

本堂 灌仏甘茶のお供え

薬師堂 護摩供

一日～七日 午前十一時～

八日のみ 午前十時～

護摩供が終わり次第、薬師如来様も特別拝観できますので、ぜひお詣りください。(午後二時まで。八日のみ午後三時まで)

添え護摩木とご祈禱のお申し込みは、納経所または薬師堂でうかがいます。

各院からのお知らせ

恵亮院より

毘沙門天王縁日護摩祈禱
(於 恵亮院毘沙門堂)
毎月三日 午前十時

本乗院より

写経会(於 本乗院客殿)
毎月第三日曜日
十一月～三月 午前七時

定光院より

大聖歡喜天縁日(於 定光院)
毎月十五日 早朝より
※病氣平癒等のご祈禱は随時受付しています。

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)

毎月八日 午前十時
(八月はありません。)

護摩供養をしています。

ご祈禱のお申し込みは納経所へお願いします。

観音縁日(於 本堂)

毎月十八日 午前八時
みんなで観音経をあげます。
お経本は本堂にありますので、お気軽におまいりください。

中国観音霊場会は今年三十三周年を迎えます。様々な記念事業を予定しておりますので、どうぞお詣り下さい。

薬師堂からのお知らせ

極彩色の十二神将像

薬師堂の両脇奥側手に、極彩色の十二神将が六体ずつお祀りしてあります。十二神将とは、薬師如来に仕える十二の眷属(家来・部下)で、『薬師瑠璃光如来本願功德経』というお経に説かれる、お薬師さまの十二大願(悟りの誓い)を実現させるための、手助けをする役割を担っています。

また、十二神将は時間や方角を守護する神としてはたらき、生まれ年の守り神として信仰されていて、薬師堂にお祀りする仏像には、頭の部分に守護する十二支の動物が形取られています。是非お詣りになって、間近でご確認下さい。

餘慶寺では、特別寄進としてお名前を薬師堂に残します。ご自身や、大切なお子さまやお孫さんの誕生に、ご寄進をお勧めいたします。



餘慶寺整備 中期計画について

餘慶寺では、平成二十四年のご開帳にあたり短期計画として、諸堂の修理工事や会館・回廊の新設工事を行いました。これもひとえに皆様からのお力添えのたまものと存じます。

また、ご開帳が済んでから数年間のうちに行う事業を中期計画としていますが、この中期計画につきましては檀信徒の皆様の負担をお願いするのはなく餘慶寺の自助努力によってすすめております。その内容をいくつかご紹介します。

一、仏像・仏画修理

地藏堂の地藏菩薩像一体、十王像十体、赤鬼青鬼像二体、本堂の四天王像四体は、永年の劣化によって剥落などの傷みが目立ってきています。また、寺宝展などで展示してありました両界曼荼羅図二幅は痛みがはげしく掛けて吊るには危うい状態になっています。そのため、専門家に修理をお願いしています。なお、修復には数年間の期間を要します。

二、境内整備

近年、餘慶寺の蓮を求めて団体参拝客が増加しています。今までは、いくつかの蓮鉢を設置して毎年植え替え作業を行い、間に合わせてきました。しかし、これからは、植物園的な様子ではなく、お寺ならではの浄土空間を作り出すことを、餘慶寺の目標といたし、「遊慶の庭」を手がけた、重森三玲最後の弟子、岩本俊男氏に託し、境内整備を行います。

数百年後に訪れる人々までも、確かな評価が得られるよう、現在からのメッセージを創設いたします。

今後、中期計画の進展状況を逐次ご報告いたしますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



ひとくち法話

五輪のマークと世間知らず

この原稿が皆様の手元に届く頃には、冬季オリンピックも終わっている頃かと思えます。ソチ五輪では、日本の選手はどれだけの結果を残してくれたのでしょうか。

さてオリンピックでは、五輪のシンボルマークが有名ですが、この五つの輪は、世界五大大陸を意味し、全世界の人たちが平和の精神のもと、スポーツで手をつなぎ合おうと言う意味があるのだそうです。

今回は、このマークの交わりの部分に注目して下さい。一つ一つの輪は、境界で区切られていますので「世界」と言います。

私たちの住む人間世界から、仏さまの極楽世界、苦しむ方々の地獄世界、餓鬼世界などなど、多くの世界があります。その世界の交わりの部分は「世間」と言います。五輪のマークでは、交わりの部分はそれぞれに一つ、または二つです。しかし仏教で説くところでは、多くの世界は複雑に交わり合い、その交わりによって違う世界へ、心も環境も移ろいやすいというのです。つまり善いことを行えば仏の世界へ通じ、悪いことを行えば地獄の世界へも通じます。また良い世界の人の縁が幸福を招き、その逆は悪運をもたらします。この道理を気付いていない人が、本当の「世間知らず」といえましよう。



読者投稿

「ふう」の研究 ……その人の特性を生かす

「ふうが悪い」とは、西日本や四国にある「世間体が悪い」ことの方言で、皆さんにはよくお分りのことと思います。

戦中育ちの私は、「ふう」の躰で育てられました。「ふうが悪いが！」と怒鳴られた後、に続くのが「人に笑われるぞ！」でした。だから今でも「どうしたらふうがいいのか」「どうしたら人に笑われないうすむのか」と気になることが度々あります。

私自身、スピード違反の罰則金を近くの郵便局へは振り込まないで、わざわざ遠くの郵便局まで行って振り込んだという笑おうに笑えないこともあります。

世間体に捉われることが、戦中育ちの私達のことだけかと思っていました。たが、新憲法のもとで育った人からも聞こえてくるようです。

子育ての話になりますが、参観日の夕方、「あんたがシヤンと発表せんから、お母さんふうが悪かったが！」と叱咤激励する声……どの子も勉強大好き、発表もよくできて欲しいです。しかし、

そのため、「ふうが悪い」で攻めても、子どもや人の「やる気」にはつながりません。

まだほかに方法があるのではないでしょう。うか。極端な表現で恐縮ですが、ふう＝世間体＝顔＝メンツで育った子どもは、良くできた時は親のアクセサリー、そうでない時はお荷物、そこには子ども（人）の特性を生かすという発想が欠けているのではないでしょう。

スイレンは、ハスになりたくてもハスになれません。



毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

十三仏について〜地蔵菩薩〜

地蔵菩薩（五七日）

五七日の仏さまは地

蔵菩薩さまです。坊主

頭でお袈裟をつけたお

姿です。

嘘をつくと閻魔さまに舌を抜かれるといいますが、この閻魔さま

は、お地蔵様の化身とされています。

地蔵とは「大地」とか「包蔵する」という意味で、大地が堅くし

っかりしているように、お地蔵様が人々を救う

菩提心が堅くしっかりしていることをあらわし

ています。

お地蔵さまを六体並べた六地蔵を見たことは

ありませんか？お墓の入り口などで見かけます

ね。むかしはなしの「かさ地蔵」に出てくるお

姿です。

これは六道（地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・

人道・天道）を輪廻する我々を救う菩薩という

ことから生まれたもので、亡くなられた方が次

に六道のどこに生まれても救っていただけるよ

うおまつりされています。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



ご案内（予定）

☆餘慶寺 薬師堂の鬼瓦

岡山 備前 備中の鬼瓦 くれこれ

三月二十三日（日）

講師 文化財修復鬼師

安川清泉先生

☆千町平野の開発と上寺山

講師 郷土史家・文学博士

根木 修先生

☆花まつりについて

講師 明王院法嗣

岡本昌幸師

☆邑久大工と餘慶寺の建造物

講師 郷土史家・文学博士

根木 修先生

☆山家会について

講師 明王院法嗣

岡本昌幸師

☆京仏師から教わった本物の見分け方

〜あなたが何かと出会ったとき〜

六月七日（土）

講師 餘慶寺住職

土井内祐真師

※聴講無料です。お誘い合わせうえ、ご参加下さい。

編集後記

春は、「別れと出会いの季節」とよく言われますが、それだけ人の動きが多い季節ということでしょう。餘慶寺では、中期計画を本格的に進めていく春を迎えます。そんな、餘慶寺の様子や桜の様子を見に、是非上寺へお越し下さい。